

■基礎研修の全体像

	基礎研修の目標	基礎研修の到達目標	各研修の目標	各研修の到達目標	権利擁護・法学系科目Ⅰ	地域開発・政策系科目Ⅰ	サービス管理・経営系科目Ⅰ	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	人材育成系科目Ⅰ	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	国会独自の研修
基礎研修Ⅰ			・社会福祉士としての自覚を促すとともに、実践の基礎となる専門性について理解する。	①専門職が職能団体を構成する意義を知る。 ②日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る。 ③生涯研修制度について知る。 ④社会福祉士に共通する専門性について知る。 ⑤実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る。 ⑥実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る。	■倫理綱領・行動規範の理解 ■社会福祉士の倫理綱領の実践適用					■社会福祉士としての専門性について考える ■社会福祉士に共通する専門性の理解	■社会福祉士のあゆみ ■日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織 ■生涯研修制度
基礎研修Ⅱ	社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につける。	①社会福祉士の倫理綱領を実践に結びつけて理解する。 ②社会福祉士に共通する専門性の基礎を身につける。 ③相談援助の実践モデルをふまえた実践ができる。 ④スーパービジョンについて理解ができる。 ⑤実践力や専門性を高めるために自己研鑽ができる。 ⑥実践研究の基礎を身につける。	・社会福祉士として共通に必要な実践の基礎的知識や技術について学ぶ。	①ソーシャルワーク理論や実践モデルを理解する。 ②社会福祉士に共通する専門性について理解を深め、実践との関係を知る。 ③相談援助の展開過程をふまえた実践と評価ができる。 ④実践力を高めるための基礎的な援助技術を身につける。 ⑤スーパービジョンについて理解する。	■社会福祉における法Ⅰ ■ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ ■社会福祉における法Ⅱ ■ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	■社会資源の理解と社会資源開発 ■連携システムのあり方とネットワークの構築 ■地域における福祉政策と福祉計画 ■社会福祉調査の方法と実際		【実践研究の方法】 ■実践研究の意義と方法 ■実践研究のための記録 ■実践評価の方法 ■実践研究発表の方法	■スーパービジョンとは ■スーパービジョンのモデルセッションを見る ■スーパーバイジー体験	■相談援助の視座と社会福祉援助の展開過程 ■実践のためのアプローチ ■自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク ■実践事例演習Ⅰ	
基礎研修Ⅲ			・社会福祉士として共通に必要な知識・技術をふまえた、実践の展開を学ぶ。	①社会福祉士としての権利擁護実践の基礎を理解する。 ②ソーシャルワークの理論をふまえた援助システムを理解する。 ③地域福祉システムと実践の関係を理解する。 ④事例研究の基礎を理解する。 ⑤スーパービジョンを体験する。	■意思決定の支援	■地域における福祉活動の実際	■社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 ■福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント ■リスクマネジメントと苦情解決システム ■事例研究(苦情、リスク、サービス評価)	【事例研究の方法】 ■対人援助と事例研究 ■事例研究の基本枠組み ■事例研究の方法としてのケースカンファレンス ■事例研究のための事例のまとめ方 ■模擬事例検討会	■スーパービジョンのモデルセッション ■新人教育プログラム	■実践事例演習Ⅱ	